

平成 29 年度第 1 回自動車整備技能登録試験〔実技試験〕

第 95 回〔二級ジーゼル自動車〕

平成 30 年 1 月 21 日

## 22 問 題 用 紙

受験番号	受験地	回数	種類	番 号				氏 名	※
			9 5	2 2					

※試験説明で  
指示された  
者のみ記入

### 【試験の注意事項】

1. 受験票又は受付番号票に記入してある受験番号及び氏名を、該当欄に思考席で記入しなさい。
2. 各問題の確認結果、測定結果及び解答は、問題用紙の該当欄に記入しなさい。ただし、思考席では記入しないこと。
3. 故障を設定している問題については、問題中に特段の指示がない限り、重複故障はないものとします。
4. 試験中、各部品は、台上で点検等を行って下さい。
5. 問題用紙の余白部分には、自由にメモすることができます。
6. 試験終了後、この問題用紙を回収します。

### 【不正行為等について】

1. 携帯電話等の電子通信機器類は、試験会場に入る前に必ず電源を切って、カバン等に入れておいて下さい。
2. 試験時間中(試験会場内)において、携帯電話等の電子通信機器類を使用した場合は、不正の行為があったものとみなし、試験を停止し、又は、その試験を無効とすることがあります。
3. 登録試験に関して不正の行為があったときは、当該不正行為に関係する者について、その試験を停止し、又は、その試験を無効とすることがあります。

この場合において、その者について、3年以内の期間を定めて登録試験を受けさせないことがあります。

問題 1 台上にある回路ボードに設置したフラッシュ回路について、次の各問に答えなさい。

なお、必要事項は、留意事項に示してあります。測定は、台上にある計測機器を用いて行いなさい。

問 1 ハザード・スイッチを操作して、ターン・シグナル・ランプの点滅の有無を確認し、下表の該当欄の何れかを○印で囲みなさい。

スイッチ操作			ランプの点滅の有無	
			ON	OFF
ランプの位置	左ランプ	前側	有 ・ 無	有 ・ 無
		後側	有 ・ 無	有 ・ 無
	右ランプ	前側	有 ・ 無	有 ・ 無
		後側	有 ・ 無	有 ・ 無

問 2 ターン・シグナル・スイッチの操作レバーを操作して、ターン・シグナル・ランプの点滅の有無を確認し、下表の該当欄の何れかを○印で囲みなさい。

スイッチ操作			ランプの点滅の有無	
			左折(LH)	右折(RH)
ランプの位置	左ランプ	前側	有 ・ 無	有 ・ 無
		後側	有 ・ 無	有 ・ 無
	右ランプ	前側	有 ・ 無	有 ・ 無
		後側	有 ・ 無	有 ・ 無

問 3 これまでの結果から、不具合があった系統について次の三つの中から一つを選んで、解答欄に番号を記入しなさい。

1. ハザード系統
2. ターン・シグナル系統
3. ハザード系統及びターン・シグナル系統

解 答

問 4 前ページの問 3 で選択した系統について下表の測定端子番号とアース間の空欄の電圧を測定し、測定値を下表の該当欄に、整数(小数点以下切り捨て)で記入しなさい。

なお、単位には k や m は書き足さないこと。

系統の種類		ハザード系統		ターン・シグナル系統		
スイッチ操作		ON	OFF	左折(LH)	中立(N)	右折(RH)
測定端子番号	7	■		V	V	V
	8			V	V	■
	9			■	V	V
	10	V	V	■		
	11	V	V			
	12	V	V			
	31	V	V			
	32	V	V	V	V	■

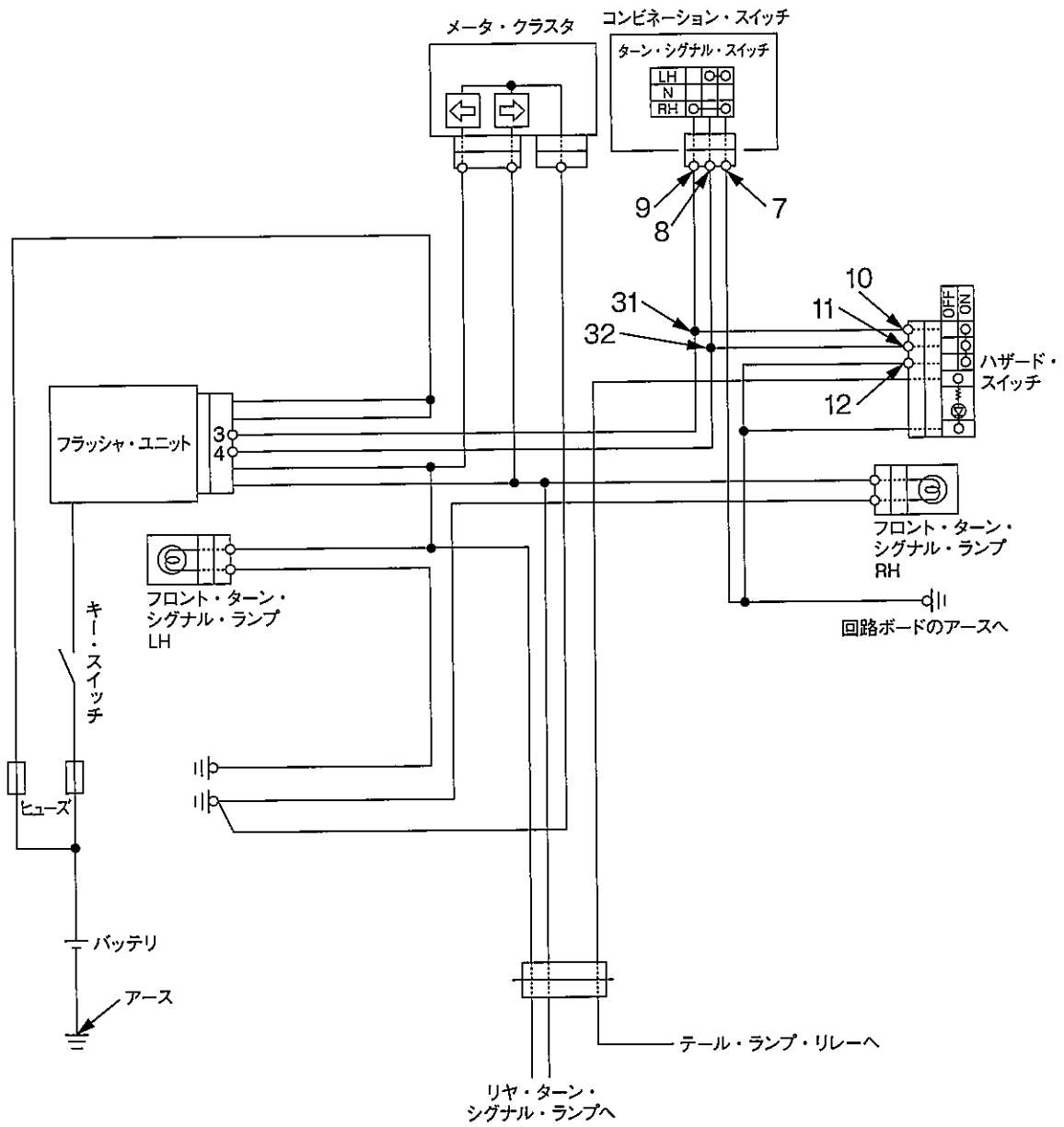
問 5 測定結果から、不具合箇所の絞り込み及び不具合状態を特定して解答欄に記入しなさい。

不具合箇所の解答は下表の記入例に沿って、配線の場合には、回路図の中の番号を選んで記入し、部品の場合には、何れかの番号を○印で囲みなさい。

また、不具合状態の解答は、二つの中から一つを選んで○印で囲みなさい。

		不具合箇所	不具合状態
記入例	配線の場合	11 と 32 の間	断線・ <u>短絡(地絡)</u>
	部品の場合	1. ターン・シグナル・スイッチ本体 ②. ハザード・スイッチ本体	内部断線・ <u>内部短絡(地絡)</u>
解答	配線の場合	と の間	断線・短絡(地絡)
	部品の場合	1. ターン・シグナル・スイッチ本体 2. ハザード・スイッチ本体	内部断線・内部短絡(地絡)

〈フラッシュの回路図〉 (12 V 仕様)



問題 2 台上にあるピストン及びシリンダ・ライナについて、次の各問に答えなさい。

なお、必要事項は、留意事項に示してあります。測定は、台上にある計測機器の中から適切なものを用いて行いなさい。

問 1 ピストンに○印で表示された箇所でのその外径を測定し、測定値を下表の該当欄に小数点以下第 2 位(小数点以下第 3 位を切り捨て)まで記入しなさい。

次に、ピストンの外径の限度から良否を判定し、該当欄の何れかを○印で囲みなさい。

測定項目	測定値	判定
ピストン外径(指定位置)	mm	良・否

問 2 シリンダ・ライナの外側に表示された箇所でのその内径を測定し、測定値を下表の該当欄に小数点以下第 2 位(小数点以下第 3 位を切り捨て)まで記入しなさい。

次に、シリンダ・ライナの内径の限度から良否を判定し、該当欄の何れかを○印で囲みなさい。

なお、ここでは試験の都合上、ライナはブロックに圧入しない状態で測定する。

測定項目	位置	方向	測定値	判定
シリンダ・ライナ内径	上	A—A'	mm	良・否
		B—B'	mm	良・否
	中	A—A'	mm	良・否
		B—B'	mm	良・否

問 3 これまでの測定結果から、ピストン・クリアランス(ピストンとライナのすき間)を計算し、小数点以下第 2 位(少数点以下第 3 位を切り捨て)まで該当欄に記入しなさい。

次に、ピストン・クリアランスの基準値から良否を判定し、該当欄の何れかを○印で囲みなさい。

ピストン・クリアランス	判定
mm	良・否

問題 3 台上にあるデュアル型ブレーキ・バルブ(ブレーキ・ペダル付き)について、次の各問に答えなさい。

なお、必要事項は、留意事項に示してあります。測定は、台上にある計測機器を用いて行いなさい。

問 1 ブレーキ・ペダルの A の寸法を測定し、測定値を下表の該当欄に整数(小数点以下切り捨て)で記入しなさい。

次に、A の寸法の基準値から良否を判定し、該当欄の何れかを○印で囲みなさい。

測定項目	測定値	判定
A 寸法	mm	良・否

問 2 問 1 の測定結果から推定される車両の状態として、最も適切なものを一つ選び、解答欄に番号を記入しなさい。

1. ブレーキの引きずり
2. ブレーキの制動力不足
3. ブレーキ・バルブのエア漏れ
4. バキューム・ブザーの吹鳴
5. ブレーキ・ジャダ
6. ブレーキの片効き
7. 異常なし

解 答

問 3 問 1 において、良否の判定を行った結果、否(不具合)があれば基準値に調整し、ブレーキ・ペダルの A と B の寸法を測定して、測定値を下表の該当欄に整数(小数点以下切り捨て)で記入しなさい。続いて、ブレーキ・ペダルの遊びの量を該当欄に記入しなさい。

測定項目	測定値または計算値
A 寸法	mm
B 寸法	mm
ブレーキ・ペダルの遊びの量	mm